

字削除
字加入

印

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

階上町農業委員会会長

殿

申請者住所

職業

氏名

印

階上町大字〇〇字△△1-1

農業

階上五郎

下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

1 許可を受けようとする土地の所在等

(市町村名)		階上町		地目		面積 (㎡)	利用 状況	10a当 たり普 通収 穫高	耕作者氏名	市街化調整区域、 その他の区域の別
大字	字	地番	登記簿	現況						
〇〇	△△	2-2	畑	畑	500	野菜			階上五郎	その他の区域
計					500	㎡ (田	㎡・畑	500	㎡)	

2 転用計画

(1) 転用の目的	用途	事由の詳細									
		現在の住宅は、築40年以上経過して老朽化しており、また、息子の家族と同居することになったため、新築することになった。現在の家は、小屋として活用するため、この農地しか、住居新築の土地はありません。									
(2) 事業の操業 期間又は施設 の利用期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日から 永久 年間										
(3) 転用の時期 及び転用の目 的に係る事業 又は施設の概 要	工事計画	第1期 (着工平成〇〇年〇〇月〇〇日 から平成〇〇年〇〇月〇〇日まで)				第2期 (着工 年 月 日 から 年 月 日まで)				合計	
		名称	棟数	建築 面積	所要面積	棟数	建築 面積	所要面積	棟数	建築 面積	所要面積
		土地造成			500 ㎡			㎡			500 ㎡
		建築物	住宅・車庫	2	198 ㎡			㎡	2	198 ㎡	
		小計									
		工作物									
小計											
計		2	198	500				2	198	500	

3 申請者の営農状況

経営面積						家族
田	畑	採草放牧地	山林	その他	計	5人
10,000 ㎡	5,000 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	15,000 ㎡	うち 農業従 事者 3人

4 資金調達についての計画 (具体的に事業費及びその調達方法、金額を記載すること)

自己資金及び銀行借入

字削除
字加入

印

5 転用することによって生ずる付近の土地、作物、家畜等への被害防除施設の概要

汚水及び排水は、合併浄化槽で浄化後、浸透枳で処理します。
また、周囲の農地には被害を及ぼさないよう十分注意します。

6 その他参考となるべき事項

□ 都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条の建築許可を要しないものである。

法第29条第 号該当

法第43条第1項第 号該当

□ 都市計画法第29条の開発許可を要するものである。

法第34条第 号該当

記載注意

- (1) 氏名 (法人にあつてはその代表者の氏名) を自署する場合には、押印を省略することができる。
- (2) 申請者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の名称をそれぞれ記載する。
- (3) 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄は、工事計画が長期にわたる場合等で、工事期間が区分できるときは工事計画を期別に記載する。

階農委指令第 号

農地法第4条第1項の規定により次のとおり条件を付して許可します。

令和 年 月 日

階上町農業委員会会長

許可の条件

- 1 申請書に記載された事業計画に従って事業の用に供すること。
- 2 許可に係る工事が完了するまでの間、本件許可の日から3か月後及びその後1年ごとに工事の進捗状況を報告し、許可に係る工事が完了したときは、遅滞なくその旨を報告すること。

[教 示]

- 1 この処分について不服があるときは、この処分があつたことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、階上町農業委員会に対して行政不服審査法による審査請求をすることができます。
- 2 この処分の取消しの訴えは、この処分があつたことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、階上町農業委員会を被告として (会長が被告の代表者となります。) 提起することができます。なお、処分があつたことを知った日の翌日から起算して3か月以内に審査請求をした場合には、処分の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があつたことを知った日の翌日から起算して6か月以内に提起することができます。
- 3 ただし、上記の期間が経過する前に、この処分 (審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決) があつた日の翌日から起算して1年を経過した場合は、審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。なお、正当な理由があるときは、上記の期間やこの処分 (審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決) があつた日の翌日から起算して1年を経過した後であっても審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することが認められる場合があります。

注 意 事 項

許可に係る土地を申請書に記載された事業計画 (用途、施設の配置、着工及び完工の時期、被害防除措置等を含む。) に従ってその事業の用に供しないときは、農地法第51条第1項の規定によりその許可を取り消し、条件を変更し、若しくは新たに条件を付し、又は工事その他の行為の停止を命じ、若しくは相当の期限を定めて原状回復その他違反を是正するための必要な措置を講ずべきことを命ずることがあります。